

タイ王国ピサヌローク市における専門家派遣事業(タイ王国)

1 専門家派遣事業について

CLAIRでは先進的な技術と豊富な知識を有する日本の自治体職員（OBを含む）を、外国の自治体等の機関の求めに応じて派遣し、行政資質の向上等に寄与するとともに、両国間の友好協力関係を強化することを目的とする「自治体国際協力専門家派遣事業」を実施している。

2 ピサヌローク市における課題

ピサヌローク市はタイ王国の北部地方に位置し、約 10,815 km²の面積に 74,848 人が暮らしている。タイ王国、及びインドシナ半島を縦横に走る道路の結節点であるとともに、スコータイ遺跡への玄関口でもあり、古来より交通の要衝として発展してきた。現在は、プレームルディー市長のもと、“City of Beautiful Landscape and Cheerful People”をビジョンに掲げて、市民の生活の質の向上を目標に、健康増進・公衆衛生の観点から街づくりを進めている。

タイ王国において、健康保健に関する事業については国が担うこととされているために、ピサヌローク市においても実施する事業のほとんどが国から委任されているものであるため、同市の主要な業務とはなっていない。また、同市独自で健康保健の分野において条例や規則を作成することもあまりない。しかしながら、同市においては市民の健康増進のため、今後、積極的に病気の予防を含めた健康管理、公衆衛生の維持に取り組みたいと考えている。現状では、市民の認識が低い中で、市民を対象とした講習会、健康体操教室を開催するといった活動で健康保健の重要性を周知するように努めているが、この分野において日本の地方自治体がどのような権限を持っており、条例や規則を制定しているのか、どのような保健サービスを市民に提供しているのか紹介して欲しいとの要望を受けた。そこで、当協会では佐賀県健康福祉本部健康増進課の末次稔氏を専門家として派遣した。末次専門家は 26 年程度、公衆衛生行政（食品衛生、環境衛生、環境保全、廃棄物対策、感染症対策など）に携われ、現在は、感染症・新型インフルエンザ対策及び健康づくりを担当されている。



ピサヌローク市位置図



プレームルディー市長(上記右)
表敬訪問

3 指導概要

今回 2012 年 1 月 15 日～1 月 27 日にかけて専門家を派遣した。当指導へのピサヌロック市側の関心は高く、市の関係所属職員のみならず、近隣の市職員、県の職員、学生までが当指導に参加されたとのことである。

今回の指導では、ピサヌロック市側で指導要望内容が絞りきれなかったため、市民への健康増進における啓発活動から環境対策（ゴミ処理対策）までと多岐に渡った。公衆衛生対策については、日本の社会情勢と課題の変化とともに行われてきた法律の整備や変遷についての紹介から手洗い指導、薬物乱用防止対策といった具体的な取組の紹介、政策策定の考え方などについての指導が行われた。専門家には指導の内容を幅広くご準備いただいた上でご対応いただいたが、短い派遣期間の中で全てを消化することは困難とのことであった。特に、日本の自治体の取組を紹介する際、タイと日本とでは自治体の枠組み、組織体系が異なるため、タイにおいては、具体的にどの組織が担当することになるのかといった、比較が困難のようであった。



講義の様子

また、ピサヌロック市では公衆衛生に関連する統計資料といった現在の課題を把握するために有益な基礎資料を取りまとめていないとのことであった。公衆衛生の指導においては、経済状況や市民の生活習慣、価値観などにも影響されるため、日本の現状のやり方がそのまま活用できるとは限らない。そのため、講義では統計資料の作成といった情報収集、及び集約した情報から課題を抽出し政策立案する手法の重要性を説かれた。

4 終わりに

ピサヌロック市への専門家派遣は 2009 年度に行われた北九州市の専門家による消防技術指導が最初となる。この時の指導を高く評価されたことで、翌年度以降、幅広い指導分野において継続的な専門家の派遣を要望されている。

三度目に当たる今回の指導では専門家の提供した講義を元にした資料作りのみならず、全ての講義、及び現地視察の様子を録画されるとともに、講義の内容を書き起こすことで、今回参加できなかった関係者を含めてピサヌロック市内で情報共有を図ることが出来るようにするとの話であった。また、ピサヌロック市からは専門家の派遣元である佐賀県への関連施設の視察を御希望いただいている。当視察が実現するとともに、当事業をきっかけとしたタイ王国ピサヌロック市と佐賀県の新たな交流が始まることを切に願うものである。



保健センター視察